



2011

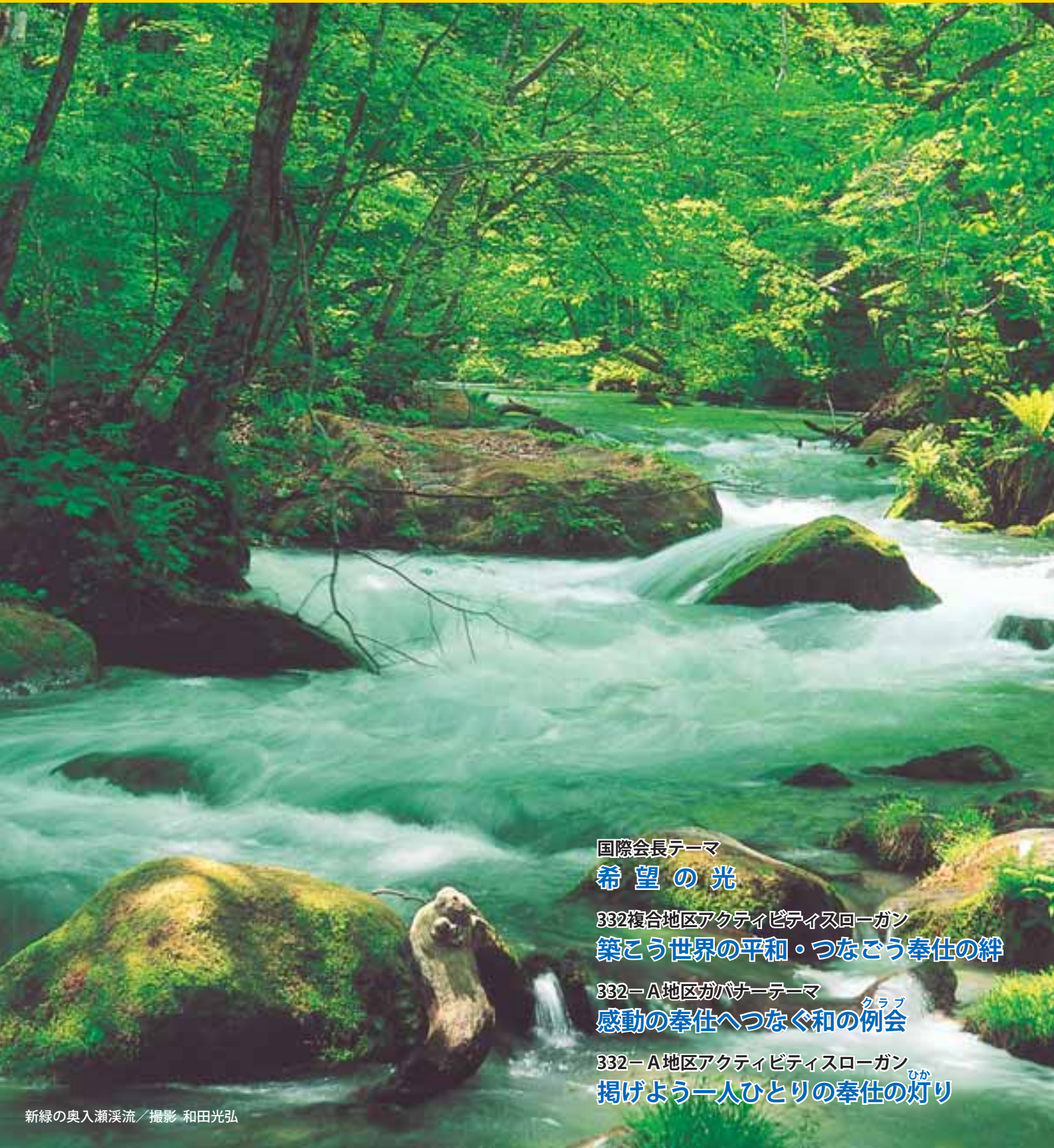
みちのく Lion

MICHINOKU
MONTHLY



MAY

2011.5.1発行：ライオンズクラブ国際協会332-A地区機関誌委員会



国際会長テーマ

希望の光

332複合地区アクティビティスローガン

築こう世界の平和・つなごう奉仕の絆

332-A地区ガバナーテーマ

感動の奉仕へつなぐ和の例会

332-A地区アクティビティスローガン

掲げよう一人ひとりの奉仕の灯り

東日本大震災 復興支援に向けて

CONTENTS

ガバナーあいさつ	2
東日本大震災・復興支援に向けて	3
アクティビティ	8
第3回ガバナー諮問委員会	13
第4回ZC会議開催	14
第2回アラート特別委員会開催	15
第4回CB会議開催	
特派員報告	16
皆で築こう明るい例会	17
新入会員紹介, M・J・F 献金	18
地区周年行事予定表, 行事予定表	
会員動向	19



東日本大震災の復興に向けて

国際協会332-A地区ガバナー

L 小松崎 壽 志

この度の東日本大震災で被災された多くの方々に心からお見舞申し上げます。

また、尊い命を失われた方や行方不明の方を合わせると、おおよそ3万人とも伝えられております。その中には私たちの仲間であるライオンズ会員もいると聞いております。犠牲になられた方々には心から哀悼の意をささげます。

被災された方々は本当に悲惨で深刻な状況です。家を津波で流され無一物になっただけでなく、漁業者は船を流され、企業経営者の方は仕事場の建物も機械もすべて失い、生活の根本をもぎ取られ、なすすべもない状態になっております。

ウィ・サーブ（奉仕）を掲げる我々ライオンズクラブが今こそ支援となるべき大きな手を差し伸べなければなりません。

この未曾有の災害に際し、4月2日に緊急アラート特別委員会を開催し、緊急援助金として積立金より、岩手、宮城、福島地区に対し、援助金を使わしていただくことを満場一致で決定しました。また、台湾300-A2地区、神戸六甲ポートLC、LCIF、332複合地区、そして、332-A地区会員の皆様より多額の義援金が寄せられ、その心温まるご厚情に心より感謝申し上げたいと思います。そ
のご厚志を被災されました方々にお届けすべく、キャビネットは行動を開始しております。

そういう状況の中ですが、第57回年次大会は東日本大震災支援を柱に、代議員会と大会式典のみ開催することとし、パレード、ゴルフ大会、前夜祭、午餐会は中止と致します。

この度の震災と福島原発で被災されました方々の損害は甚大で、しかも広範囲にわたっております。復興は今始まったばかりで、これから長い期間かかるでしょう。我々ライオンズクラブはこの復興のため出来る限りの支援をしたいと思っておりますので、会員の皆様の大きなお力をお貸し下さるようお願い致します。



何度も来るかも知れない余震に怯え、いつでも逃げられるように服を着たまま就寝しました。

明くる日は顧客の被害の程度を見るために朝6時から湊地区へと向かいました。昨日の津波など感じさせない青空の下、新井田川では、河口から1km以上遡った場所にも何艘もの船が流されて転覆していました。湊地区へのトンネルを抜けるとすぐに一軒目の顧客ですが、あと10メートルのところまで難を逃れていました。その先にはヘドロ状の泥が5cm程積もり、海と油の混ざった臭いが鼻をつきました。路地という路地には流された車が滅茶苦茶に、重なり、家に突き刺さり、ひっく

り返ったり。その間には家財道具やタイヤ、看板や自動販売機が埋め尽くし、家の壁には穴があき、玄関のドアもはずれたり、ガラスが割れたりと修羅場となっていました。

そして岸壁へと向かうと、大小の漁船が陸に上がり、中型のイカ釣り船が倒れ、道路を半分ほど塞いでいました。たくさんの人達が黙々と後片付けに励んでおり、人間の立ち直りの早さに心を打たれた反面、自然の力に対する無力さも感じました。

次に「夢の大橋」を渡り河原木地区へ。輸出関連の倉庫と飼料倉庫が建ち並ぶ地域ですが、倉庫のシャッターはめくれあがり、中の倉荷は崩れ落ち、あの鉄の塊のようなコンテナも100m以上も離れたところに流されています。道路のコンクリートの電柱も折れ曲がり衝撃の強さを物語っています。隣接する三菱製紙八戸工場では、紙のロールが道路まで転がり、倉庫は骨組みを残すばかりです。敷地の中には流された車も転がっています。

市川地区では、畑や田んぼに泥が流れ込み、集落のかなり家が結構な高さまで水が入ってしまったようです。保育園には川を逆流した水が流れ込み、壁や窓がボロボロになっています。

津波の被害に心をもんでいる中、福島第一原発の事故の報道がありまし

た。いろいろと思うところはありますが、早い終息を望みます。

日曜日になり、被災者とお客様のことを考えていると、3R3Z ZCのL小山内より着電。なんとか無事だったと話した後、早くも被災地への援助を考えておられることに自分の視野の狭さを感じさせられました。思えば一週間前にはL小山内達と仙台市での332複合の若手フォーラムに参加し、災害に対するライオンズの行動にもっと即時性を（今すぐ）でも救援が欲しい」といっているのに、理事会・例会を通さないと何もできないって！という話しをしていたのです。若手フォーラムに参加された福島・宮城・岩手の方たちの安否も心配です。何日かたってL小山内より、ガバナリーの素早い決断を受け塩釜へ救援物資を送るということを知り、332-Aも中々やるなど思うこともありました。また八戸の避難所にもキャビネットよりリンゴを42箱も送っていただき感謝しております。

まだまだ復興途上です



平成23年3月11日、その時は突然やってきました。小さな横揺れの後かなり大きな揺れが、永遠に続くのではないかと思うほど長く…。そして津波が。

同じライオンズクラブに所属する会員の酒屋さんへ納品に伺っている時に地震は来しました。植木鉢が落ちないようには揺れなかったですね」などと話しているうちに、自宅と自社のことを思い出して電話をしたが通じず。妻には安否のメールを入れ、会社へ向かいました。

途中の信号機はすべて消えてしまいましたが、特に混乱している様子もなく帰社。社員と近所の人達が路上に立ち不安そうにしていました。社内へ入りましたが被害も見られずホッとし、今後の対応を考えておりましたが、社員から携帯のワンセグの津波の映像を見せられ急遽帰宅を決めました。もし



もの事を考え、コンピュータのデータのバックアップを持ち家へ向かいました。途中、新井田川にかかる橋まで来ると今迄みたことのないほどのすごい勢いで黒く濁った川が逆流していました。

家では、妻と手分けして二人の子供を学校から連れ帰り、照明も暖房も無い中で味も感じられない夕食。子供達の笑い声だけが唯一の暖かさでした。

緊急災害救援と復興支援の対応を！

PR・情報機関誌委員 L 佐藤 正洋

か。

二つ目は、災害時におけるミクシイ・フェイスブック等、SNSの有効性。ライオンネットというサービスがせっかくあるのですから利用しない手はありません。

今回も、携帯を含めた電話はつながらなくてもライオンネットでの連絡が盛んに行われていました。

三つ目は、自分にはいったい何ができるのか、ということ。3321 B・C・F地区のホームページやライオンネットを見ていると全国のクラブが被災地への援助物資・義援金の提供などをされています。物資をもって現地入りし活動されているクラブもあります。ぜひ皆さんもご覧になってください。貴重な時間とお金と労力をかけて奉仕されていることを考えると頭が下がります。すぐ近くにいるのに、気持ちがあっても動くことをせず、少しばかりの募金をして小さな満足感を得ている自分に腹がたちます。3321 Aでも援助物資は送りましたがまだまだ足りないと思います。物資を送るだけではなく、ライオンズ本来の活動である奉仕活動もしようではありませんか。直ぐには動けなくても、今回の大震災からの復興はかなりの時間がかかると思われまます。いろいろな場面で奉仕活動が必要とされるはず。その時には一致団結してA地区の力を

見せようではありませんか。そのためには、今のうちから様々なことを想定し・組織を作っておくことが必要です。また4月2日のキャビネット会議の時に、第二副地区ガバナーL外崎から聞いたことです。誰か忘れてしまいましたが元国際理事の方の言葉で「今全ての力を出すこともいいが、何年後にやってくる被災者の進学に際して必要なお金をプールしておくという考えもあるよ」というものです。ライオンズ基金を設け、奨学金を出す。というようになことだと思えます。このようなことを聞くと「ライオンズって素晴らしい」と思いませんか。全国のライオンズの力を借りて是非、実現しようではありませんか。



これからのアクティビティ 「Lions Quest 思春期のライフスキル 教育プログラム」ってなに？

3 R 3 Z Z C L 小山内 金 弥(つがるLC)

とかく新しい横文字のものは敬遠されがちで、「ライオンズクエストって何なの？何をやるの？」といった声がよく耳にします。直訳とかを気にせず「Lions Quest」青少年が健全に生きるために必要な技術の習得」と覚えて頂きたいです。

このプログラムは、子供達が悩んだり・困ったり・迷ったりした時に使える「人生の知恵やコツの集まり」で、何かあった時にさっと出して使える便利な「解決法」を習得してもらうものです。

例えば「本当の自信を身につける」「友達とどうコミュニケーションをとるか」「感情をどうコントロールするか」「良い友人関係を築く」「誘いの良い悪いを判断し行動する」「健康への道を選ぶ」等、学校や日常の生活でいろいろな問題と直面します。

以前は自然に乗り越えてきたかもしれませんが、社会の多様化により自力での到達・回避が難しくなっており、これを超える方法を今までの学校授業では教えてくれません。これに

よって、引き籠り・校内暴力・薬物乱用などの問題が起こっております。Lions Questプログラムは、これらの問題を解決するのに非常に有効な手段です。

子供達がこのプログラムで学習するスキル(技術)は「コミュニケーション」「感情のコントロール」「意志決定」「問題解決」「仲間からの良くない誘いや薬物使用の圧力への対処」「自分の力を他者や社会のために役立てる」「目標設定」などあり、大事な価値観を子供たちに伝えていきます。



5Rで東日本大震災支援の街頭募金実施

5 R 1 Z Z C L 鈴木 芳 男

5Rに所属しているクラブ員が東日本大震災で被災した八戸地域の人を支援しようと八戸市内4ヶ所で募金活動を行い、八戸市民より多額の善意をいただきました。

募金は約100万円近く集まり、それに3321 A地区キャビネットから200万円の義援金や5R各クラブからの義援金を合わせて310万円を4月11日、八戸市長に贈呈してまいりました。



【募金活動内容】

・日時 4月3日(日)

10時～15時(5時間)

・場所

ラピア……………八戸LC
八戸三城LC
八食センター…八戸城北LC
八戸都南LC
ピアドウ……………八戸中央LC
中心商店街……………八戸白鷺LC
(ハッチ周辺) 八戸まべちLC
五戸LC
八戸東LC

フォローする。

・自ら体験会・ワークショップ・講習会を受けてLions Quest説明員になり、体験会を行う。

このアクティビティの進捗状況を全国的にみると、8年前から始めて大きな成果を上げていく地区もあれば、全く手付かず状態の地区まで差があります。当地区は、今期に初の体験会を1回開催しましたが、後進地区であります。

次期からは地区キャビネット内で「ライオンズクエスト委員会」と単独委員会になりリジョンから1名選出の組織として活動します。各リジョンで最低1回は体験会を行い、早期ワークショップ開催を目指します。

皆様のご理解とご協力をお願いします！



このアクティビティの対象は、思春期真っ盛りの中学生と接する機会が多い「中学校の先生方」です。中学校教師の方々にLions Questプログラムを習得して頂き、一つの授業として生徒に教えてもらうようにするのが、ライオンズの役割です。

では、具体的にライオンズが何をやるかというと、

- ・Lions Quest 体験会に自ら参加し、いろいろなライオンズ内で理解しPRする。
- ・Lions Quest 体験会を教育委員会・PTA・学校の先生方のために開催し、内容を知ってもらう。
- ・体験会より詳しい公募ワークショップを開催する。または、近隣のワークショップに参加してもらう。
- ・全校実施が決まったら校内ワークショップ開催を金銭面や運営面で

Activity

青森中央ＬＣ

「東日本大震災」被災の 介護老人保健施設へ支援

岩手県石巻市にある介護老人保健施設「シニアパンション石巻」より、クラブ会長を通じ、「布団」の緊急支援依頼がありました。

その施設は、津波来襲の直前、間一髪で入居者45名を2階に避難させたものの、救助されるまでの3日間、停電、無暖房、食料無しの極限状態で、その後救急搬送にもかかわらず、2名の方が亡くなるなど、危機的状況に陥っていたとのことで、介護を要する入居者にとり、「布団」は命を繋ぐ絶対的な必需品となりました。しかし、地元はおろかどこからも入手できる状態では

なく、自治体から配布された毛布だけでは更なる危機が迫っており、この緊急支援依頼となりました。

当クラブでは、この人命にかかわる緊急事態に、急ぎよ、3月第二例会出席しに協力を呼び掛け、その翌日、早速提供品をまとめて寄贈することになりました。

協力しは、13名で、提供品は、布団、毛布、シーツ他、衣類、タオル、日用品飲料等、合計145点となりました。提供品は、早々に施設に届けられ、お年寄りからは、「10日ぶりにゆっくり休めました」「命が助かっただけでも幸せなのに」「テレビの避難所の人にも温かい布団があったらいいのに」などの声があったと、お礼状をいただきました。

広範囲にわたる未曾有の甚大な被災



地、被災者には、より多くの様々な支援が必要であることを痛感させられました。



藤崎ＬＣ

桜の木の剪定作業を実施



弘前東奥ＬＣ 盲導犬の役割について学ぶ

3月26日（土）藤崎町白子地区平川河川敷の桜の木の剪定作業を実施し、剪定された枝の回収・清掃および配布を行いました。



3月3日（木）弘前市立堀越小学校にて盲導犬の役割について学ぶ会を実施しました。日本盲導犬協会仙台訓練センターの協力を得て、実際に盲導犬との歩行訓練等を行いました。

板柳ＬＣ

恒例の献血運動を開催

3月23日（水）板柳町福祉センターに於いて、恒例の献血運動を開催しました。32回目を迎えるライオンズクラブと日赤板柳婦人部との合同の献血運動は町民に定着し、献血者にはライオンズクラブより500円相当のケーキ、日赤板柳婦人部からは、そば、おにぎりが提供され69名の献血となりました。また、当日は板柳町より協力を要請されていた東日本大震災の義捐金募金を同会場で行い、第1回の募金額



86,725円を同町に持参しました。義援金募金は今後も引き続き行う予定です。



黒石ＬＣ

支援物資を托す



3月19日（土）東北関東大震災の被害を受けた、当市との姉妹を結ぶ岩手県宮古市に支援物資を運ぶ黒石市建設協会の車に200,000円分の物資を托しました。

平賀ＬＣ

献血推進運動を実施



十和田ＬＣ

伝統の和菓子作り体験学習を実施

3月30日（水）献血推進運動を行い、献血された方に粗品（卵6個と舞茸）を呈しました。

3月4日（金）青少年健全育成事業として、菓子店主である地区青少年指導力委員会の山下川原委員長に協力を仰ぎ、十和田市立北園小学校5年生103名と父兄を対象に伝統の和菓子作り体験学習を実施しました。講師の山下川原は「和菓子というありふれた中にも日本の伝統と日本の心が込められていることを知ってほしかった」と話しており、子供たちが学びたいことを学び、大人が教えたことを教え、自信をもって生きていく力を身につけてもらいたいと感じました。



むつみらいLC

被災地へ救援物資を配送

3月17日(木) 東日本大震災被災地への救援物資の配送出発式を行いました。これは、当クラブ会員であります第一副会長L高屋龍一(葬祭店代表)のもとに、葬祭組合から現地地のご遺体移動の依頼があり、前日の例会の場で会員一同この機会に出来ることを至急やろうと、物資の選択、資金の準備をクラブ積立金よりとりくずし、全会員が一丸となり商品を調達し行いました。また、むつLCから複合地区議長L其田、他会員の方々も応援に駆けつけて下さり、タオル等の品も提供して頂きました。



八戸三八城LC

図書寄贈と平和ポスターコンテスト参加賞を贈呈

3月16日(水) 是川東小学校へ10,000円、城下小学校へ50,000円の図書券を寄贈、また、平和ポスターコンテストへ参加した生徒へ賞状と参加賞を贈呈しました。



図書寄贈



国際平和ポスターコンテスト賞状と参加賞贈呈

2R合同献血

弘前LC・弘前東奥LC
弘前チェリーLC・岩木LC
弘前中央LC弘前津軽LC
弘前西LC

2月20日(日) 2Rで弘前地区に事務局を置いていた7クラブが、毎年冬の血液が不足するこの時期に献血運動を行っています。各クラブよりお手伝いライオン・献血者の時間帯を概ね決め、さくら野向、弘南建設(前)前駐車場にて、午前の受付10時~11時30分、午後の受付12時30分~16時で行なわれました。弘前市では毎日約60人分の血液が必要とのこと。是非協力したいものです。

午前中は通行人がまばらのためか、献血者も思ったより少なく、献血車の



二〇一一年三月度アクティビティ

アクティビティ記載について

マンスリーレポートの報告で、記念式典参加や諸会合出席、チャリティを伴わない大会参加等は、アクティビティになりません。したがって「みちのく誌」のアクティビティ欄には記載されませんのでご承知下さい。

地区ガバナー L 小松崎 壽志

1 R

- 青森LC
3月25日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 171,000円
- 青森とうとうLC
3月25日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 100,000円
- 青森あすなろLC
3月6日 「第7回街頭献血」呼び掛けPRを実施。献血者33名(内訳400ml:30名/200ml:3名) 参加L5名 家族1名 事業費12,242円
- 3月6日 「骨髄バンクドナー登録」呼び掛けを実施。 参加L5名 登録希望者7名
- 3月22日 「第8回資源回収」を実施

- 協力L12名 収益事業4,370円
- 3月23日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 54,000円
- 青森かもめLC
3月17日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 33,000円
- 青森まほろばLC
3月29日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金(3,000円×34名)及び3月第二例会において会員より義援金を集める 合計129,000円
- 青森ねぶたLC
3月19日 「街頭献血」呼び掛けPRを実施。献血者35名(内訳400ml:33名/200ml:2名) 参加L6名 事業費13,965円
- 青森中央LC
3月24日 東日本大震災で被災した岩手県石巻市介護老人保健施設「シニアパンション石巻」より「布団」提供の緊急支援依頼があり、布団、毛布、シーツ他、衣類、タオル、日用品、飲料等、合計約145点を寄贈 協力L13名
- 3月25日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 500,000円

- 青森八甲LC
3月3日 青森県立第二養護学校卒業生(41名)に記念品贈呈 参加L3名 83,212円
- 3月24日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 132,000円
- 蟹田LC
3月4日 「国際平和ポスターコンテスト」表彰状及び賞品寄贈(6校分) 36,830円
- 3月24日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 30,000円
- 青森みちのくLC
3月25日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 51,000円
- 青森外ヶ浜LC
3月25日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 69,000円
- 三厩LC
3月25日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 13,000円
- 青森みらいLC
3月28日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 72,000円
- 青森LSC
3月17日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 57,000円

- 青森中央LSC
3月24日 例会に会員が品物を持ち寄り、ミニバザーを開催 収益事業2,300円
- 3月25日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 51,000円
- 藤崎LC
3月26日 藤崎町白子地区平川河川敷の桜の木の剪定作業を実施 参加L4名 事業費30,000円
- 弘前東奥LC
3月3日 弘前市立堀越小学校にて盲導犬の役割について学ぶ会を実施 寄付金62,000円
- 板柳LC
3月23日 板柳町福祉センターに於いて、恒例の献血運動を実施。献血者69名(400ml)。また、板柳町より協力を要請されていた東日本大震災の義援金募金を実施し、同町に持参 募金額86,725円 事業費50,000円
- 岩木LC
3月18日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 69,000円
- 弘前津軽LC
3月25日 「新一年生とおかあさんの集い」 協賛金10,500円
- 3月25日 東日本大震災義援金を地

2 R

前では通行人にハンドマイクを持ち「血液が不足しております。献血にご協力お願いします」「特にO型・AB型が不足しています」と献血のお願いと、献血の必要性を訴えていました。お昼近くから午後にかけては献血者の数も増え、ホットしていったようです。毎年毎年献血協力者数が増加するのではなく減少しているのが現状です。皆様ご協力を宜しくお願いいたします。本日の献血状況は
受付者数65名
内訳 400ml……39名
200ml……17名



3 R

- 区キャビネットへ送金 141,000円
- 黒石LC 3月8日 市内の新入学児童300人に保険付きランドセルカバーと児童安全カード贈呈 113,700円
- 3月19日 東北関東大震災の被害を受けた、当市との姉妹を結ぶ岩手県宮古市に支援物資を寄贈 200,000円
- 平賀LC 3月 東日本大震災で、姉妹クラブの陸中山田LCに義援金を贈呈 300,000円
- 3月 地区キャビネットに義援金を贈呈 72,000円
- 3月 陸奥新報社主催「新1年生おめでとう津軽南大会」 協賛金10,000円
- 3月 T・Tタイムで事業資金獲得 収益事業30,500円
- 3月30日 献血運動を実施。献血者12名(内訳 400ml:10名/200ml:2名) 事業費14,450円
- 浪岡LC 3月 東日本大震災義援金を送金 70,000円
- 黒石鳥城LC 3月30日 クラブ結成35周年記念事業の障害児施設「もみじ学園」へ遊具(バスケット・サッカーゴール) 2点を施設に寄贈 300,000円
- 3月30日 東日本大震災に対し全会員48名へ一人3,000円の義援金拠出を願った。また周年積立金から一部拠出金と合わせ義援金として緊急に地区キャビネットへ送金。クラブ結成記念事業の一つとした。 200,000円
- 尾上LC 3月24日 東日本大震災に対し、義援金一人2,000円で32名全員の分を地区キャビネットに送金 64,000円
- 3月23日 毎年実施している健康講座を開催。地域住民にも呼びかけて、会員、一般市民で例会場の会館がほぼ満席となった。 事業費42,800円
- 田舎館LC 3月6日 田舎館村立西小学校閉校式典に青少年健全育成事業の一環として会長が出席 助成金3,500円
- 五所川原LC 3月2日 MJF\$1,000 献金 L外崎 勲(5回目・6回目) 1名(82円) 164,000円
- 3月28日 五所川原中央小学校「耳と聞こえの教室」に教材を贈呈 事業費80,000円
- 深浦LC 3月18日 東日本大地震義援金を地区キャビネットへ送金 15,000円

- つがるLC 3月25日 MJF\$1,000 献金 L小山内金弥(2回目) 1名(82円) 82,000円
- 鱒ヶ沢LC 3月1日 第25回「新小学一年生おめでとう」 西海岸大会 助成金30,000円
- 3月22日 東日本大震災被災地に救済物資(毛布20枚) 発送 140,000円
- 五所川原金木LC 3月 東日本大震災の被災地支援として飲料水を寄贈
- 十和田LC 3月4日 十和田市立北園小学校5年生と父兄を対象に伝統の和菓子作り体験学習実施 参加L10名 事業費50,000円
- 十和田稲生LC 3月14日 東日本大震災の被災者へ毛布・タオルを寄付。L溝口京子より毛布50枚、タオル(バスタオル・フェイスタオル)250枚寄贈
- 3月29日 MJF\$1,000 献金 L小笠原豊重(2回目) 1名(82円) 82,000円
- 野辺地LC 3月28日 MJF\$1,000 献金 L市ノ渡祥廣(1回目) 1名(82円) 82,000円

4 R

- 三沢木崎野LC 3月25日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 96,000円
- むつLC 3月 LCでは、会員に物資を募り宮古市に会員二人が出向き救済物資を届けました。
- 大間LC 3月 地区内新入学児童へ例年どおり文房具贈呈(地区内新入学児童数73名、大間地区47名、風間浦地区9名、佐井地区17名)
- むつみらいLC 3月17日 東日本大震災被災地への救済物資の配送出発式を実施
- 八戸LC 3月5日 5R平和ポスター展 事業費19,130円
- 3月7日 日本聴導犬日協会へ寄付 6,000円
- 八戸三八城LC 3月5・6日 5R平和ポスター展をラビアで開催 参加L6名 事業費11,332円
- 3月16日 是川東小学校へ10,000円、城下小学校50,000円図書寄贈。平和ポスターコンテストへ参加した生徒へ賞状と参加賞贈呈 事業費16,310円
- 八戸城北LC 3月5日・6日 5R合同国際平和

5 R

- 3月11日の東日本大震災にて、不幸

- ポスター展 事業費8,448円
- 八戸うみねこLC 3月5日・6日 5R合同国際平和ポスター展実施 参加L6名
- 八戸中央LC 3月5日・6日 5R合同国際平和ポスター展を開催 事業費17,248円
- 3月16日 国際平和ポスターコンテストで当クラブがスポンサーした八戸市立吹上小学校6年生の参加者へ記念品を贈呈
- 3月16日 1年間当クラブで収集してきたプルタブを前年に引き続き、吹上小学校へ寄付
- 3月24日 ペットボトルキャップを「シンフォニープラザ」へ寄付
- 八戸白鷗LC 3月5日・6日 5R合同国際平和

- ポスター展をラビアにて開催 参加L5名 事業費10,208円
- 3月11日 LCIF\$20 献金 28名(82円) 45,920円
- 3月7日・23日 国際平和ポスター展参加作品を青い森信用金庫中居林支店に展示
- 3月30日 八戸市を縁にする会 助成金5,000円
- 八戸まべちLC 3月6日 国際平和ポスター展実施
- 3月29日 東日本大震災義援金を地区キャビネットへ送金 65,000円
- 八戸東LC 3月5日・6日 5R合同国際平和ポスター展をラビアにて開催。(当クラブ出展数75作品) 参加L10名 事業費14,784円

2000万円の義援金を寄せられました!!

青森八甲LCが姉妹提携を結んでいる神戸六甲ポータルLC会長 林 峯三、幹事 松本正彰が青森八甲LC会長 菅原博充、幹事 大里 力とキャビネット事務局を訪れ、L小松崎地区ガバナーに義援金200万円を手渡しました。小松崎ガバナーが、県内の被災された方々に役立ててもらいますと感謝の意を表しました。



2R1Z
第3回ガバナー諮問委員会
L 奈良岡 弘

平成23年3月27日(日)「第3回ガバナー諮問委員会」が開催された。開会を前に司会 齋藤弘臣(弘前東奥LC幹事)より、今回東日本大震災で亡くなられた方へ黙祷をささげてから開会ゴングに始まりました。出席者紹介の後、議長挨拶を2R2Z LC 油川安孝より3月27日(日)第4回ZC会議の報告を交え、東日本大震災へのお見舞いを申し述べ、今回の第3回ガバナー諮問委員会で最終で、後、4月2日第4回キャビネット会議で何もかも決定するとして、今後ライオンズマンの一致協力での頑張りましょうと挨拶され、諮問会議に移りました。

1. 楽しく有意義なクラブ例会が会員維持につながる各項目の質問事項については、評価通りで20名以下のクラブでは少し落ち込みがちでしたが和気あいあいと明るく振舞っているのが何より力強いものがありました。
2. 会員増強目標については、弘前LCと弘前東奥LCが目立った為、

2R2Z
第3回ガバナー諮問委員会
L 立田 トキ子

3. その他では、3月30日に行う予定でありました、2R合同アクティビティが、今回の大震災で中止になった事に何かにと、うまくばかりはいかないものだど痛切に感じました。またこの様に全体での行事を行うことへの手始めとなつた事に対しては大変良かったのではないかと思つた。以上で諮問委員会は終了し全員で写真撮影をして、今後の事を話し合いながら、ライオンズマンの活躍とウィ・サーブの信念を持って散会する。

3月29日(火)今年度最後の「第3回ガバナー諮問委員会」が弘前東奥ホテルで開催されました。

にも亡くなりなられた方々への黙祷をささげた後、次第に添って会が進められました。

議長挨拶（2Z・ZCL油川安孝）の中で、『いろいろな行事を自粛して欲しい』『地区年次大会・複合地区年次大会等』については近日中にキャビネットより連絡があると思います」と話され被害の大きさを改めて考えさせられました。

今回の諮問委員会は3回目とあって1Z・2Zの三役さんが、一同に介し各クラブ会長さんが今期を振り返りながらクラブの状況を発表されています。今期純増11名と言う弘前東奥L.Cの会長さんは「新入会員が友達を誘うといった良い循環が大幅な増員になった」と話され、周りよりうらやましがられていました。又、弘前チェリーL.Cの会長より、『当クラブに浦安シーサイドL.Cの方と知り合いがおり、昨年新幹線開通に伴って青森県を訪れ津軽三味線・弘前城等を見学し「千葉県浦安地方は新しい街、弘前には歴史の重さを感じる」是非、友好提携との話となり姉妹提携ではないが話が進んでいる。』と発表され会議は終了した。

参加ライオン全員での記念写真を撮り、弘前チェリーL.C会長の「がんばろう日本」の乾杯で懇親会に入りました。懇親会では、クラブ内外の様々な情報交換をし、わきあいあいの中、

ZC会議になってしまったとの事でした。

審議事項に入り、年次大会議事運営構成表（案）、第二副地区ガバナー立候補届出、代議員会提出議案について第4回CB会議に提出が了承されました。

その他となり、今年度の年次大会の開催についてZCそれぞれの意見を聞き、28日に仙台で地区ガバナー会議が開催され、各地区の意見を参考にし決定したいとの小松崎地区ガバナーの発言で締め括った。



日時：2011年4月2日（土）
場所：サンロイヤルとわだ

緊急にアラート委員会を開催し、東日本大震災で犠牲になられた人たちに黙祷をささげ、開会となりました。報告事項の新燃岳の噴火に対する義援金とニュージランド地震の被害に対する



弘前東奥L.C会長のライオンズローア・1Z ZC閉会ゴングで今年度の諮問委員会を終えることができました。皆様一年間ご苦労様でした。



3R3Z 第3回ガバナー諮問委員会 3R3Z ZC L 小山内 金 弥

1 諮問書総括
別紙にて各クラブの現状を把握した上で、3点・4点のところをどう改善すべきか話し合いました。

義援金を支出するとの報告がなされ、審議事項として、東日本大震災について緊急援助をするにあたって332-A地区としての対応を審議しました。



当地区に寄せられた義援金はLCIF、台湾の300-A2区、神戸六甲ポートL.C、地区内25クラブ、地区内個人（5名）、地区3R3Zの善意の義援金が寄せられております。

当地区でも被災されているライオンズメンバーもあり、そういう方たちにも支援しなければなりませんし、勿論、その地域の方々に届く支援は何だろうという話し合いがなされました。また、被災にあった地区とLCIFに対しては、も支援金を支出していくとの了承がなされました。

第4回CB会議開催

日時：2011年4月2日（土）
場所：サンロイヤルとわだ
開会に先立ち東日本大震災に犠牲になられた人たちに黙祷をささげ、開会となった。

また、欠席者に関しては「寝た子を起さない」のも会員維持には必要だし、今後いろいろな取り組みとの話になりました。

複合年次大会は青森市での開催でもあるし出席者増をお願いしたが、地区も複合も年次大会のあり方についてもっと有意義なものに出来ないかという意見も出ました。

- 2 Z内行事について
・Zボウリング大会での賞品代については、半額の17,000円を義捐金にすることにしました。
・水上運動会については、次年度に機会があったらゾーン内クラブに参加要請をすることにしました。
・ニューメンバースクールの開催については、今まで2ゾーンと合同で行っていたので、協議したいと思います。
- 第4回諮問委員会（新旧合同）& 合同例会について
2011年6月8日（水）ホストクラブ：中泊L.Cにて、行う予定。

3. その他
・東日本大震災の義捐金に関しては、一人3,000円を目安にするが、金額の決定はクラブでの判断に任せる事にしました。

小松崎地区ガバナーより、このCB会議に先立ち、緊急の第2回アラート会議を開催し、東日本大震災について緊急援助を決めたことを発表し、これからそれぞれのクラブ会員に対して支援をお願いしたいとの挨拶がありました。



そして報告事項の後に審議事項の■第1号議案、年次大会議事運営構成表■第2号議案、第二副地区ガバナー立候補届出■第3号議案、年次大会代議員会提出議案■第4号議案、年次大会日程変更、特にこの議案は東日本大震災に鑑み、5月8日の一日とし、代議員総会及び分会科会と大会式典のみとした提案を了承されました。



第4回ZC会議開催

日時：2011年3月27日（日）
場所：十和田商工会館

最初に、この度の東日本大震災の犠牲者に対して黙祷をし、第4回ZC会議を開催しました。小松崎地区ガバナーの挨拶の中で、キャビネットとして今回の大震災に対して今すぐに出来ることはどのようなことか、ライオンズとして対策を立てるべく、八戸市役所など関係方面に連絡をとり、情報を集めました。現場が混乱しており、なかなか回答が得られぬまま今回の



編集後記

毎日テレビに映しだされる東日本大震災と福島原発事故の爪跡は、あまりに悲惨な状況で目をそらしたくなる思いです。しかし、家も家財も車も全てを流され職場まで失った方が数十万人いるのが現実の姿なのです。

被災されました方には心からお見舞い申し上げます。自然の猛威の前に人間の無力さを今ほど感じたことはありません。被災者支援のため全国のライオンズメンバーが、今こそ力を発揮すべきだと思っています。

そんな中、小松崎ガバナーの素早い決断で塩釜へ救援物資を送ったり、キャビネットより八戸の被災避難所へリಂಗゴ42箱を届けるなど機敏な行動が目につきました。支援には今後、中期、長期の対策が考えられますが、親を失った子供達の就学資金援助等も検討すべきではないでしょうか。

PR・情報機関誌委員
委員長 三浦 芳靖

皆で築こう明るい例会



2R2Z
5クラブ合同例会開催
 2月22日(火) 2R2Zでは毎年2月「元ガバナーの月」にあわせて5クラブ合同例会が行われました。
 今年度のホストクラブは弘前津軽LC(会長 上奈良岡峰一)、2Zのライオン90名が出席し開催されました。2Zの元地区ガバナー 上波多野祥二(欠席)・上佐藤



上代吉・上児島 理・上菊地清二(欠席)・上名のZC 上奈良岡弘・上油川安孝をお招きし、又、弘前東奥LCより6月に40周年特別記念例会開催予定のため、三役・ZC・実行委員長 上高橋譽四男(1Zの元地区ガバナー)・副実行委員長・上総務部長の7名がPR方々お見えになり今回の例会に花を添えてくれました。
 数年前ある元地区ガバナーより「ガバナーを囲む会」ではどうかと言う話があり今では「ガバナーを囲む会」として行なわれています。元地区ガバナーを代表して上



上遠藤直樹会長よりご挨拶がありました。中止にしてはと会員からも意見がでましたが討議した結果、集まったお金を義捐金にしようかと決定し、再度よびかけて開催にこぎ着けました。
 上三浦一廣司会のもと被災者へ黙禱し献杯して始まりました。チケット販売枚数は約240枚、参加者は190名だったようです。
 いつもより空席が目立ったのは仕方ないことです。自粛ばかりだと経済停

高橋譽四男がクラブより指名されいろいろご苦労されたお話が聞きました。
 弘前チェリーLC会長 上佐藤勝幸が乾杯の挨拶の中で、3月30日の2R合同アクティビティの2Rライオンズナイトについて「弘前市民として築城400年の盛り上げになれば」と話された後、懇親会が始まり、お互いテーブルを周り話が弾みました。
 最後に2名のZCのローア、元地区ガバナー兼弘前中央LC会長の上児島 理の閉会ゴングで例会を終えました。

特派員報告

青森みちのくLC 「第4回青森県産酒・新酒を楽しむ夕べ」

1R1Z 機関誌特派員 上本堂 均

青森みちのくLCは、青森グランドホテルに於いて「第4回青森県産酒・新酒を楽しむ夕べ」を2011年3月31日18時より開催致しました。
 「ダメ。ゼッタイ。」の青森県薬物乱用防止運動に対しアクティビティの一环として取組をしています。
 今年度は、東日本震災支援を銘打って決行を致しました。「協賛・後援・会費」とクラブ会費を足して被災者への義捐金を送ります。本日は自粛空気の中、理解を賜り出席してくれましたことに感謝申し上げます。



上遠藤直樹会長よりご挨拶がありました。中止にしてはと会員からも意見がでましたが討議した結果、集まったお金を義捐金にしようかと決定し、再度よびかけて開催にこぎ着けました。
 上三浦一廣司会のもと被災者へ黙禱し献杯して始まりました。チケット販売枚数は約240枚、参加者は190名だったようです。
 いつもより空席が目立ったのは仕方ないことです。自粛ばかりだと経済停



滞が深刻になってしまおう。特に宴会キャンセルに歯止めがかからない飲食関係企業は二次災害ですと諦め顔で話していました。
 ライオンズは「We・Serve」の心で、「どこでも・誰にでも」一生懸命奉仕をし社会貢献しましょう。



電化が あたけ

副幹事・機関誌委員
 取締役社長 上大竹 茂 (十和田LC)

株式会社 大竹電化センター
 〒034-0081 青森県十和田市西十三番町26番7号
 電話(0176)23-2302代 FAX(0176)23-9218
 ホームページ <http://www.ohakedc.jp>
 E-mail sales@ohakedc.jp

4月号でご紹介いたしました1R1Zの2000年、2001年1Z会長会が楽しく開催されたと報告しました。
 その会長会で参加者の皆さんよりドネーションとして集めた6,000円をキャビネットに送付していただきました。
 この貴重なお金は6人のメンバーの意思を酌み取り、青少年健全育成のために大切に使用させていただきます。本堂に有難うございます。
 (キャビネット幹事 上田中潤二)

332-A地区 会員動向 2011年3月末日現在

R	Z	クラブ名	2011年2月末	2011年3月末	増減		
1	1	青森	46	46	0		
		青森うとう	31	31	0		
		青森あすなろ	18	18	0		
		青森はまなす	37	37	0		
		青森かもめ	11	11	0		
		青森まほろば	34	35	1		
		青森ねぶた	22	23	1		
		小計	199	201	2		
		1	2	青森中央	40	41	1
				青森八甲	44	44	0
蟹田	18			18	0		
青森みちのく	17			17	0		
小計	189			189	0		
2	2	弘前	78	81	3		
		藤崎	16	15	-1		
		弘前東奥	52	54	2		
		板柳	14	14	0		
		小計	160	164	4		
		2	2	弘前チェリー	40	40	0
				岩木	23	23	0
				弘前中央	24	24	0
				弘前津軽	45	47	2
				弘前西	19	19	0
小計	151	153	2				
合計	311	317	6				
3	1	黒石	47	47	0		
		大鰐	11	11	0		
		平賀	24	24	0		
		浪岡	10	10	0		
		黒石鳥城	48	48	0		
		尾上	32	31	-1		
		田舎館	16	16	0		
		小計	188	187	-1		

R	Z	クラブ名	2011年2月末	2011年3月末	増減
1	1	青森ライオネス	19	19	0
	2	青森中央ライオネス	17	17	0
合計			36	36	0

R	Z	クラブ名	2011年2月末	2011年3月末	増減		
2	2	五所川原	54	54	0		
		鶴田	36	36	0		
		深浦	5	5	0		
		五所川原東日流	44	44	0		
		五所川原中央	19	19	0		
		小計	158	158	0		
		3	3	つがる	22	21	-1
				鱒ヶ沢	29	30	1
				五所川原金木	17	17	0
				中泊	30	30	0
小計	98	98	0				
合計		444	443	-1			
4	1	三沢	32	32	0		
		十和田	57	57	0		
		十和田稲生	30	30	0		
		野辺地	13	13	0		
		十和田湖	18	18	0		
		十和田おいらせ	25	26	1		
		三沢木崎野	32	32	0		
		七戸	11	11	0		
		小計	218	219	1		
		4	2	むつ	37	37	0
むつ大畑	7			7	0		
むつ脇野沢	8			8	0		
むつ横浜	11			11	0		
むつ川内	13			13	0		
東通	19			19	0		
大間	10			10	0		
むつみらい	17	17	0				
小計	122	122	0				
合計		340	341	1			
5	1	八戸	54	53	-1		
		八戸三八城	31	31	0		
		八戸城北	23	23	0		
		八戸都南	15	15	0		
		八戸うみねこ	31	31	0		
		小計	154	153	-1		
		5	2	八戸中央	48	48	0
				八戸白鷗	29	29	0
				八戸まべち	13	13	0
				五戸	14	14	0
八戸東	42	42	0				
小計	146	146	0				
合計		300	299	-1			
総計		1,783	1,790	7			

332-A地区 新入会員紹介 ご入会おめでとうございます

クラブ名	新入会員 (ふりがな)		職業	スポンサー
青森まほろば	安部 浩一	あべ こういち	農業	黒滝 孝
青森ねぶた	古川 鉄幸	こがわ てつゆき	運転代行業	豊川 民男
青森中央	中村 治	なかむら おさむ	保険代理業	柿崎 祐藏
弘前	石澤 敏行	いしざわ としゆき	看板業	前田 賢治
	佐藤 泰弘	さとう やすひろ	土木・建設業	木村 康雄
	須藤 浩一	すとう こういち	飲食業	安田 伊佐武
弘前東奥	福士 秀文	ふくし ひでふみ	社会保険労務士	齋藤 弘臣
	山本 治	やまもと おさむ		齋藤 弘臣
弘前津軽	太田 浩幸	おおた ひろゆき	建設業	竹内 昭三
	吉澤 俊寿	よしざわ としひさ	刃物、鉄骨製造業	竹内 昭三
五所川原	石岡 博次	いしおか ひろじ		小川 忠男
鱒ヶ沢	新井 武志	あらい たけし	廃棄物処理・自動車解体	清野 道雄
十和田おいらせ	芋田 俊雄	いもた としお	建設業	国分 薫

メルビン・ジョーンズ・フェロー献金

月日	氏名	所属LC	献金額	回数
3月2日	外崎 勲	五所川原	164,000	6回目
3月25日	小山内 金弥	つがる	82,000	2回目
3月28日	市ノ渡 祥廣	野辺地	82,000	1回目
3月29日	小笠原 豊重	十和田稲生	82,000	2回目

332-A地区 地区周年行事予定表 2010~2011年

R・Z	クラブ	月日	場所	周年
1R1Z	青森あすなろ	2011年6月19日(日)	ウェディングプラザ アラスカ	35周年
2R1Z	弘前東奥	2011年6月19日(日)	弘前パークホテル	40周年

行事予定表

日程	内容	場所	
5月	8日(日)	代議員会及び分科会 第57回地区年次大会式典	十和田市民文化センター
	29日(日)	第57回複合地区代議員会	ウェディングプラザ アラスカ
6月	12日(日)	次期三役・TT・ZCセミナー	八戸市・八戸グランドホテル
7月	4日(月)~ 8日(金)	第94回国際大会	アメリカ・シアトル



Lions Clubs
International

ライオンズクラブ国際協会332-A地区

第57回 年次大会

— 東日本大震災・復興支援に向けて —

2011年5月8日(日)

■ 代議員総会及び分科会 ■

十和田市民文化センター
十和田市西三番町2-1 TEL.0176-22-5200

- 9:00~10:00 登録受付・投票 (同時進行)
- 9:30~ 9:50 運営委員会
(資格審査委員会・議事運営委員会・指名選挙委員会)
- 10:00~ 代議員総会 (全大会) 及び分科会

■ 大会式典 ■

十和田市民文化センター
十和田市西三番町2-1 TEL.0176-22-5200

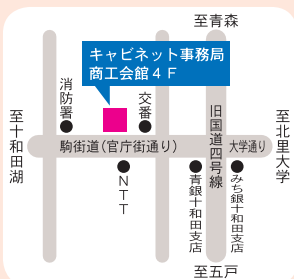
- 11:30~12:30 登録受付
- 13:00~15:00 大会式典

2011.5.1 発行

ライオンズクラブ国際協会
332-A地区
キャビネット事務局
ライオンみちのく
編集局

〒034-8691
十和田市西二番町4-11
十和田商工会館4F
TEL 0176-27-6521
FAX 0176-25-2230

E-mail: t332a2010@cube.ocn.ne.jp



SDC 三興電子工業株式会社

2010-2011 332-A地区ガバナー
代表取締役会長 小松崎 壽 志 (十和田LC)

〒034-0001 青森県十和田市大字三本木字矢神58-1
TEL 0176-26-2331 FAX 0176-26-2336

お客様にご安心を!!
社会福祉法人 勲功会
高齢者総合福祉施設 祥光苑

2010-2011 332-A地区
第二副地区ガバナー
理事長 L 外崎 勲
(五所川原LC)

〒037-0092
五所川原市大字沖飯詰字帯刀357番地1
TEL 0173-36-3100
FAX 0173-36-3130

美しい自然と水を守りましょう。

株式会社 源 外崎配管設備

2010-2011 332-A地区
第二副地区ガバナー
代表取締役 L 外崎 勲
(五所川原LC)

〒037-0032 五所川原市烏森45番地15
TEL 0173-35-9816
FAX 0173-35-9817
木造営業所 TEL 0173-49-1122

中居食品容器(株)

2010-2011 332-A地区
第一副地区ガバナー
代表取締役 中居 雅博
(八戸LC)

〒039-1121
青森県八戸市卸センター2-5-18
TEL 0178-29-0887
FAX 0178-29-0776